

伝言板

No.21 (H26.4)



NPO法人 北海道みなとの文化振興機構

もくじ

「第11回理事会・通常総会」の開催 …………… 1	みなとまち活性化イベントの助成事業の
平成26年度事業計画について…………… 2	募集について …………… 6
「みなと座談会(紋別)」の開催…………… 4	着ぐるみ(みなとのマスコット「ぼーとん」くん、
北海道海洋深層水フェアの開催 …………… 5	「べいくりん」ちゃん)貸し付け事業の紹介………… 8
みなとパネル展の開催 …………… 5	平成26年度 役員・事務局体制…………… 8

「第11回理事会・通常総会」の開催

第11回理事会・通常総会は、平成26年2月28日(金)北海道立道民活動センター(かでの2・7)で開催しました。理事会は定数10名のうち6名、通常総会は正会員数238名のうち84名の方が出席していただきました。

通常総会の開催に先立ち中村理事長より平成25年度事業の実施に当たって、「みなとサポート業務」・「全道各地で開催された舟漕ぎ大会」を始め、防災エキスパート支援などの各事業にご協力いただいた会員の方々にお礼を申し上げ、出席会員皆様の一層のご支援、ご協力をお願いしました。

また、ご来賓いただいた北海道開発局港湾空港部部長川合紀章様から港湾を巡る最近の話題や当機構が「より発展し更なる活躍を期待する」との励ましの言葉を頂きました。



理事会



理事長挨拶



川合港湾空港部部長挨拶

議案の審議内容は、以下の通り異議なく承認されました。

● 第1号議案（平成25年度事業報告）

(1)みなとサポート業務 (2)ミニパネル展 (3)広報誌「伝言板」の発刊 (4)着ぐるみ貸し付け事業（有償） (5)記念グッズの配布（無償） (6)防災エキスパート支援 (7)みなと座談会 (8)ネットワーク強化 (9)情報収集 (10)助成活動

● 第2号議案（平成25年度収支決算書）並びに収支決算内容の監査報告

収入額 4,283,938 円

支出額 3,874,830 円

繰越額 409,108 円

● 第3号議案（平成26年度事業計画（案））

● 第4号議案（平成26年度収支予算計画書（案））

収入予算額 4,177,108 円

支出予算額 4,050,000 円

繰越予算額 127,108 円



理事長特別報告



玄間千英子様への記念講演

通常総会終了後、中村理事長より NPO 法人北海道みなとの文化振興機構「10年を振り返って」と題しパワーポイントを用いた特別報告が有りました。

更に、当機構設立10周年を記念し、株式会社アルティスタ人材開発研究所代表取締役玄間千英子様から「日本人と“道具”」と題し記念講演が有りました。

平成26年度 事業計画について

1 定款の事業名 港への理解と利用促進に係わる広報活動及び支援

(1) みなとサポート業務

北海道開発局各開発建設部管内で開催されるみなと見学会等の行事に、当機構会員の「みなとサポーター」の支援を希望するところに派遣します。「みなとサポート業務」を希望する箇所について調査を行い、当機構の自主事業として可能な箇所から実施します。

(2) ミニパネル展

当機構主催の「ミニパネル展」は従来通り、「ザ・シンポジウムみなと」の開催会場で実施します。

また、当機構独自の広報用パネルの制作を検討します。

(3) 広報誌「伝言板」の発刊、ホームページの充実

当機構の活動状況や関連情報を会員に伝えるとともに、一般の方々にも港の役割と暮らしとの関わりを広く理解していただくため、平成26年も年2回（4月・11月）の発刊を基本とします。

ホームページの更新を随時実施し充実を図ります。

(4) 着ぐるみ（「ぼーとん」くん・「べいくりん」ちゃん）貸付事業（有償）

着ぐるみは、今年度もみなとに係るイベント等へ借上要請の有るところへ有償で貸し付けを実施します。

(5) 記念グッズの配布（無償）

当機構で作成した記念グッズ（ノート・ボールペン&マーカー・着ぐるみシール）は、着ぐるみ貸付箇所及びサポーター業務実施箇所、助成事業の活動箇所で見たい箇所がある箇所に配付します。

2 定款の事業名 港湾・空港・漁港の防災業務及び災害復旧に係る活動・支援

(1) 防災エキスパート支援

北海道開発局港湾空港部（事務局）と連携し、北海道開発局防災エキスパート（港湾・空港・漁港）の災害時の出勤に際し、より効果的な支援が可能となるよう、研修会等を実施します。

3 定款の事業名 まちづくりの推進を図る活動等に関する情報収集

(1) みなと座談会

“みなとのまちおこし” “みなとの活性化” について考える「みなと座談会」は、北海道みなとまちづくり女性ネットワークとの共催で、地域で「まち」の活性化に取り組んでいる方々の参加を要請し開催します。

(2) ネットワーク強化

① 道内で活動している「北海道みなとまちづくり女性ネットワーク」との連携強化に努めていきます。

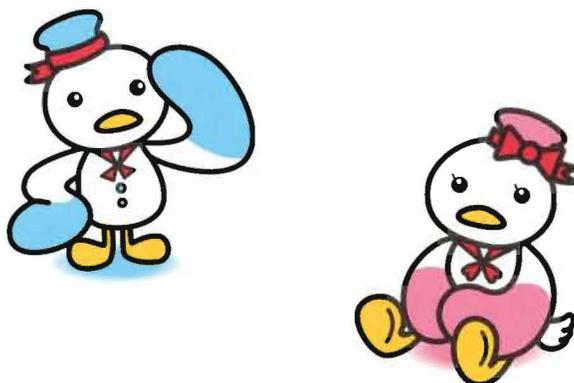
② 「北海道みなとオアシス活性化協議会」等まちづくり団体との既ネットワーク構築強化に努めるとともに、更に多くの団体の活動内容をインターネット等紹介情報を得るよう図っていきます。

③ 当機構の現有支部（札幌・函館・室蘭・苫小牧・釧路）体制で対応していきます。又、支部会議を開催し、事務局・各支部間の意志の疎通を図っていきます。

4 定款の事業名 その他、目的を達成するために必要な事業

(1) 助成活動

昨年同様「みなとまちの活性化」に寄与する事業の助成を実施します。募集は、各開発建設部の「みなとの相談窓口」等を通じて推薦を頂くと共に、多数の応募が可能となるよう当機構のホームページで募集要領を公表します。



「みなと座談会(紋別)」の開催

みなとまちの地域づくりについて考える「みなと座談会」は、「北海道みなとまちづくり女性ネットワーク」との共催で、地元の活性化に取り組んでいる方々の参加を要請し、平成16年度より開催しています。

今回10回目となる「みなと座談会」は、平成25年10月30日(水)紋別市で開催しました。

始めに特別講演として紋別市商工会議所青年部専務理事山崎章則氏から、紋別のまちおこし「紋別の特産品を活かしたまんぷく横丁開催、新たな出会いを支援する街コン開催」など開催に至る経緯や課題、さらに開催情報の発信方法など貴重な活動体験をご紹介いただき、まちづくりに向けた強い情熱を感じました。

座談会は、「地域の魅力を活かしたみなとまちづくり」をテーマに、全道各地の参加会員から活動内容の報告を得て北海道開発局や紋別市の皆さんを交え活発な意見交換が行われました。

翌、31日(木)には、流氷砕氷船ガリンコII号に乗船し、各港湾施設の説明受け、紋別港が新たな飛躍を遂げようとしていることが判りました。

みなと座談会出席団体

ネットワーク名
女性みなと街づくり苫小牧
みなとまちづくり 女性ネットワーク室蘭
稚内のみなとを考える 女性ネットワーク
みなと・まちづくり 女性ネットワークオホーツク
みなとまちづくり 女性ネットワーク函館

参加人数は32名。(道内各地の「みなとまちづくり女性ネットワーク会員」5名、地元会員4名、地元有識者1名、行政関係者15名、機構事務局7名)



理事長挨拶



座談会の様子



特別講演

北海道海洋深層水フェアの開催

北海道の海洋深層水を使った商品をPRする「2013年北海道海洋深層水フェア」が平成25年11月14日(木)午前11時から札幌駅地下広場の「チ・カ・ホ 北3条交差点広場(西)」で開催しました。

北海道における海洋深層水の取水施設は、岩内町、八雲町(熊石地区)、羅臼町の3町に整備され、海洋深層水事業に取り組んでいますが、全国的にみて後発であることなどから認知度が低く、利活用拡大上の課題となっています。

このような状況から、海洋深層水及び海洋深層水用いた商品の認知度を高め、地域振興を目的として、取水地3地区と(一般社団法人)寒地港湾技術研究センターの共催で、一般消費者を対象に塩、飲料水、味噌、米など26品の物販フェアを実施しました。

当NPO法人みなとの文化振興機構は、協賛での形でサポーター事業登録者2名が、物販、パンフレット及びアンケート調査票の配布に協力しました。



みなとパネル展の開催

当NPO法人みなとの文化振興機構では多くの道民の皆様に「みなとの役割・暮らしとの関わり合い」を広く理解していただくため、毎年「ザ・シンポジウムみなと実行委員会主催」の「ザ・シンポジウムみなと」の開催に協賛し、また実行委員会の支援を得て「みなとパネル展」を企画、開催しています。

今年度の「ザ・シンポジウムみなと」は、11月28日(木)苫小牧市苫小牧グランドホテルニュー王子で行われました。

開港50周年を迎えた苫小牧港の着工から開港に至る経緯など歴史を振り返るパネルでシンポジウムに訪れた皆さんを出迎えました。

展示パネルは、以下のとおりです。

- (1) 苫小牧港西港区、東港区整備の経緯
- (2) 苫小牧港西港区・東港区航空写真
- (3) 苫小牧の役割、(4) 苫小牧港の潤い空間(緑地)
- (5) 北海道の港湾所在地、北海道の貿易を支えるみなと
- (6) 防災拠点としての港湾
- (7) クルーズ船寄港地北海道の港湾
- (8) 北海道みなとオアシス認定港湾



今回のパネル展開催にあたっては、北海道開発局港湾空港部・室蘭開発建設部苫小牧港湾事務所のご支援を頂きました。厚く御礼を申し上げます。

また当機構の活動内容などを紹介するパネルを展示しました。

- (1)北のみなとをもっと身近に
- (2)NPO 法人の主な活動内容



みなとまち活性化イベントの 助成事業の募集について

NPO 法人「北海道みなとの文化振興機構」では、当機構の目的の一つである「港の効果的、効率的利用の促進や港を核としたまちづくりに係る広報事業を支援する」を図るため助成事業の募集を行います。平成 26 年度の助成事業応募要領は下記のとおりです。

■助成事業募集要領

(1) 応募要件

道内でみなとまちの活性化をめざし企画・実施されるイベント等において、平成 25 年度に実施予定の本助成を希望する事業とする。

(2) 募集期間および応募方法

募集期間は平成 26 年 4 月 1 日(火)から 5 月 9 日(金)までとし、助成を希望する団体は必要事項を記入の上、別途応募様式を提出する。

(3) 助成金額

1 件当たり助成金額は 15 万円を限度とし、みなとの活性化の効果の大きいと考えられる数件を選定する。

(4) 評価審査委員会の設置

応募された助成希望の事業につて、審査を行う機関として設置する。

評価審査委員会当機構理事長の指名により構成す

る。

評価審査委員会の事務は当機構事務局が行う。

評価審査委員会は平成 25 年 5 月中旬に開催し、助成を希望する事業について審査し、採択する。

審査結果については、5 月下旬に郵送で通知する。

また、当機構のホームページ上で公表する。

(5) 助成金の支払い

助成金については、助成を受ける団体等に対し、イベント等の開催の 2 週間前までに支払う。

(6) 助成を受ける団体の義務

活動を実施するにあたって、「NPO 法人北海道みなとの文化振興機構助成」をうけている旨を明示すること。

(7) 報告

実施結果については、実施後速やかに別途報告様式により提出する。

応募様式

平成26年 月 日

NPO 法人北海道みなとの文化振興機構 御中

団体名

代表者名

平成26年度NPO法人北海道みなとの文化振興機構助成事業に応募します。

1 事業名	
2 事業の目的	
3 事業の内容と課題等	
4 共催団体および支援団体	
5 開催場所	
6 開催日時	
7 総予算額（見込み）、本助成金の要望金額および内容	
8 スタッフ人数	
9 参加者見込み人数	
10 過去の開催実績	

(A-4版)

報告様式

平成26年 月 日

NPO 法人北海道みなとの文化振興機構 御中

団体名

代表者名

平成26年度NPO法人北海道みなとの文化振興機構助成事業により、下記のとおり事業を実施しましたので報告します。

1 事業名	
2 事業の内容	
3 共催団体および支援団体等	
4 開催場所	
5 開催日時	
6 スタッフ人数	
7 参加者人数	
8 総支出額、本助成金の使用内容	

※実施状況のわかる写真を添付

(A-4版)



着ぐるみ(みなとのマスコット「ぼーとん」くん、「べいくりん」ちゃん) 貸し付け事業の紹介



北海道のみなとのキャラクター「ぼーとん」くんと「べいくりん」ちゃんの着ぐるみは、全道のみなと街でのイベント等に使用していただきたく、当機構は、平成17年から貸し付け事業を開始しました。着ぐるみの利用が好評なことから、平成25年に1組を製作し、今後は4組(8体)体制で事業を実施いたします。

「小さな赤ちゃんカモメ」をイメージにしたとてもかわいい着ぐるみの男の子と女の子です。

空色の洋服を着た僕は男の子で「ぼーとん」といいます。ピンクの洋服を着たわたしは女の子で「べいくりん」といいます。「ぼーとん」・「べいくりん」の図案はNPO法人北海道みなとの文化振興機構が商標登録しております。尚、着ぐるみは平成19年年度より有料とさせていただきます。平成26年度も貸し付け事業を実施いたしますが、夏の期間はイベントが集中しておりますので、早目のご連絡をお願いいたします。

■平成26年度 役員・事務局体制

平成26年度「NPO法人北海道みなとの文化振興機構」役員及び事務局をお知らせします。

活力あるみなとまちづくりを会員の皆様方と進めてまいります。

よろしくお願いいたします。

役員

役職名	氏名	役職名	氏名
会長	藤田 博章	理事	小泉 信男
理事長	中村 信之	理事	古屋 温美
理事	岩倉 博文	理事	大西 育子
理事	宮崎 英樹	理事	妹尾 英世
理事	高橋 喜一	監事	上原 泰正
理事	水野 雄三	監事	中村 弘之

事務局

役職名	氏名
事務局長	妹尾 英世
事務局次長	谷内 清治
〃	毛利 照男
〃	東 志郎
〃	市来 隆
〃	渡部 優
〃	渡部 修司

支部

役職名	氏名
札幌支部長	山本 博
札幌支部次長	廣田 正俊
函館支部長	高森 孝紀
函館支部次長	安部 俊六
苫小牧支部長	小山 良明
室蘭支部長	中野 克彦
釧路支部長	平山 裕義

お願い

当機構事務局へのご連絡は、下記のいずれかでお願いたします。

Tel 011-727-3710 Fax 011-727-3710 E-mail bunka-npo@kanchi.or.jp

なお、事務局は、常駐体制でありません。ご返事を差し上げるまで一週間程お時間をいただくこともございます。何卒ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

当機構の活動状況は、ホームページでご覧になることができます。

<http://www.minatobunka-npo.info/>

特定非営利活動法人

北海道みなとの文化振興機構